

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 篠津運河下流地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（「各市町田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

江別市 石狩川と野幌原始林とともに豊かな自然の恵みをもたらし、市民の心のよりどころとしての役割を果たしている。地域の自然環境は豊富である。

当別町 当別町の河川はすべて石狩川水系で、最終的に石狩川に流入し景観豊かな町である。

【課題】

江別市 動植物の保護・保全に努め、水や緑などの景観を有効に市民生活に取り組むことが課題である。

当別町 地域住民のみならず、周辺地域からの外来者などの滞在とあわせた風土に根ざした個性的な環境づくりが課題となっている。

《環境保全の基本的考え方》

江別市 緑地や樹林地、水辺等の自然景観や自然環境の保全に努める。

当別町 親水機能・景観性の整備促進や自然生態系や自然浄化力の維持に配慮した河川や農業用排水路の改修をめざす。

2. 環境配慮方針(案)

《基本方針(案)》

本地区は、北海道江別市、石狩郡当別町に位置し、一級河川石狩川水系石狩川の下流域の右岸に拓けた農業地帯である。

農地、河川及び河畔林により農村景観が形成されており、農業水利施設及びその周辺では多くの生物の生息、生育が確認されている。

本事業においては、江別市及び当別町の田園環境整備マスタープラン等との整合を図り、生態系や景観との調和に配慮する。

《取り組み内容(案)》

(1)生態系への配慮

・工事実施前に希少な鳥類の営巣の確認を行い、営巣が確認された場合は、繁殖への影響が大きい3月中旬から8月末の期間は営巣地から半径500mの範囲での工事を回避する。

・魚類の生息環境に配慮するため、工事の実施に当たっては、沈殿・ろ過等の濁水処理施設を設置し、濁水流出を防止する。

(2)景観への配慮

・排水機場の改修に当たっては、施設の色彩について周辺景観との調和に配慮する。